

ぱびるす

聖学院大学総合図書館

第39号 (2004年10月1日)

発行・編集 聖学院大学総合図書館
〒362 8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号
電話 048 725 5461 FAX 048 780 1096
E-mail : lib@seigakuin-univ.ac.jp
URL : http://www.seigakuin-univ.ac.jp/scr/lib.asp



必見! 文献調査法 レポート・論文を書く

秋学期を迎え、論文やレポートのための文献が集まっていない、どうやって探していいかわからないと途方に暮れている人はいませんか? そんな人のために、図書館が贈る「必見! 文献調査法」です。さあ、聖君と一緒に、Let's try!

1 参考図書調べよう! 聖くんは「各国の少子化対策について」というテーマで論文を書くことになりました。そこで、関連する資料を集めに大学図書館へ行ってみることにしました。聖くんがカウンターで相談すると、辞典や白書類などの参考図書を紹介してくれました。

例) 『人口大事典』 日本人口学会編 培風館 2002.6 参考図書 334.03 N71

『厚生労働白書』 厚生労働省監修 ぎょうせい 2003.8 参考図書 498.105 Ko83 ほか

2 図書を探そう! 次にもう少し詳しい図書を探すことにしました。そこで、図書館の「蔵書検索」で検索してみました。(検索方法の詳細はぱびるす35号「特集: いまさら聞けない、本の探し方」を参照)

例) 「少子化の原因と抜本的対策」 未来予測研究所 1997.6 3階書庫 334.31 Mi49 ほか

3 新聞記事を探そう! 聖くんは最近の様子についても調べたいと思い、新聞記事を調べることにしました。そこで、オンライン・データベース「聞蔵(きくぞう 朝日新聞の記事が検索でき、本文が読めます)」で検索することにしました。

< 聞蔵の検索方法 >

① 本学図書館ホームページから「聞蔵」を選択し、ログイン。

* 「聞蔵」は図書館内の端末から利用できます。

② 検索方法を選択すると、検索画面(画面1)へ。

③ キーワード等を入力し、「検索開始」をクリック。

例) キーワードは「少子化」「対策」等を入力。

さらに日付などでも絞り込めます。

④ 検索結果一覧(画面2)が表示されます。

⑤ 読みたい記事を選択、記事本文が表示されます。

画面1



画面2



新聞記事は、時事的なものや歴史的流れを知るための有効な資料です。図書館には、聞蔵のほかにも新聞記事を調べるためのCD-ROMや資料がいろいろとあります。

4 雑誌論文を探そう！ 聖くんはもっと詳しく調べるために、雑誌論文を収集することにしました。そこで、「雑誌記事索引」というデータベースを使うことにしました。

まず、図書館のホームページにアクセス。「電子図書館(情報検索)」コーナーの「**国立国会図書館**」をクリックし、国立国会図書館のホームページに移動。そして、「NDL-OPAC」を選び、「雑誌記事索引の検索」ボタンを押しました。

検索ページ(画面3)で「論題名」の入力欄に「少子化 政策」「少子化 動向」や「少子社会」「人口減少」「人口問題」「人口 高齢化」「出産率 低下」など、様々な検索語を入力し、検索を行いました。

聖くんは、それらの検索結果からレポートに役立つような論文を何点か選び、「著者 論題 雑誌名 掲載巻号 出版年 掲載ページ」のメモを取りました。

画面3



例) 福田 亘孝 『子育て支援政策の国際比較：日本とヨーロッパ(特集 先進諸国の少子化の動向と少子化対策に関する比較研究(その1))』 人口問題研究 59巻1号(2003) p7 26

日本語の資料では物足りない場合は、英語の雑誌論文も集めることができます

図書館のホームページの、「電子図書館(情報検索)」コーナーの「Academic Search Elite (EBSCOhost)」をクリックし、「Find:」の入力欄に「population growth rate」や「population decrease」「population problem」「family policy」などの検索語を入力し、検索を行うと結果が一覧で表示されます。先ほどと同じく論文のメモをとればO.K.です。

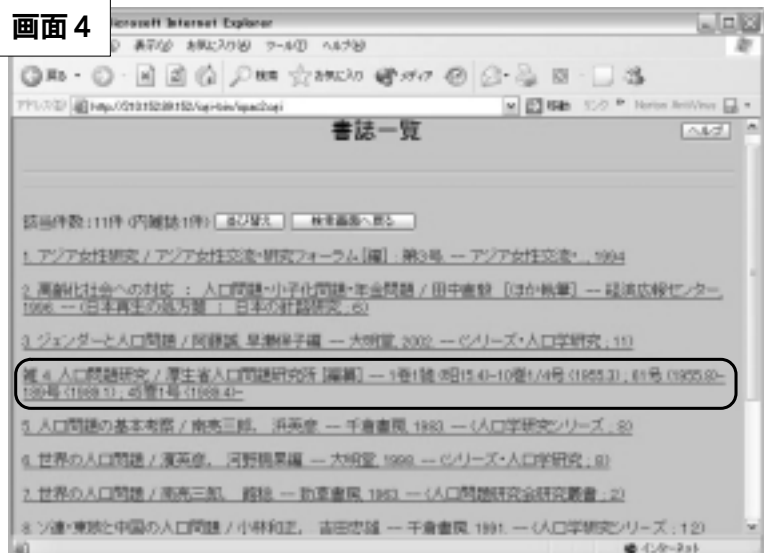
5 雑誌論文を手に入れよう！ 文献情報を入手することができたので、今度は論文そのものを入手します。

聖くんは、まず、本学図書館に目的の論文が収録されているかを確認することにしました。

図書館ホームページの、今度は「**蔵書検索**」をクリックし、「**聖学院大学総合図書館蔵書目録検索画面**」に移動しました。

検索画面の「タイトル」の所に、先ほどメモをとった論文の「雑誌名」を入力

画面4

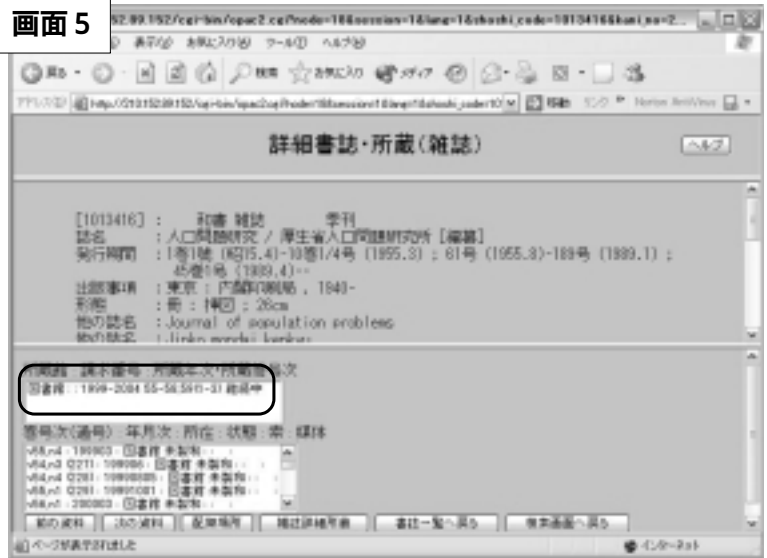


し、「検索開始」ボタンを押しました。
 (先程の例の場合なら「人口問題研究」と入力します)

この「聖学院大学総合図書館蔵書目録」で、目的の雑誌を検索することができれば、本学図書館がその雑誌を所蔵しているということですから、該当の論文をすぐ入手することができます(画面4)。

(「人口問題研究」という雑誌の検索結果から、55巻から59巻3号まで所蔵していることがわかります(画面5)(2004年9月現在)ですから、『子育て支援政策の国際比較：日本とヨーロッパ』という雑誌論文は、本学図書館が所蔵していることになります)

画面5



6 本学図書館にない雑誌論文を取り寄せよう！ 聖くんは、メモしたほかの論文も本学図書館にあるかどうか調べました。その結果、何点かの雑誌論文は本学図書館にはないことがわかりました。

そこで、聖くんは「文献複写依頼」で、それらの論文も入手することにしました。

図書館カウンターに置いてある「ILL申込書」に必要事項を記入し、カウンターに提出しました(図6)。

これにより、(実費はかかりますが)その雑誌を所蔵している他の図書館から、必要な論文をコピーして送ってもらうことができます。

数日後、図書館の掲示板を見ると、論文が届いたというお知らせの紙が貼ってありました。

聖くんは早速、カウンターに出向き、届いた論文を受け取りました。
 これで、レポート作成に必要な文献を全て入手することができました。

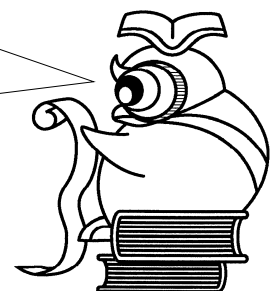
図6

ILL 申込書【 借用・複写 】

受付日 月 日 受付者

学籍番号	000PP036	氏名	戸崎 聖		
電話番号	048 *** ****	E-mail	000pp036@seigaku.ac.jp		
ISBN・ISSN	0916 7331	出版者	京都学園大学経済学部学会		
書名・誌名	京都学園大学経済学部論集				
巻号	12(2)	page	p183~193	発行年月	2002
著者名	平田 謙輔				
論文名	ドイツにおける少子化と家族政策の展開				
典拠	データベース検索(名称: NDL-OPAC(雑誌記事索引)その他())				
メモ					

なお、より詳しい新聞記事の探し方や、雑誌論文・記事の探し方は「図書館ハンドブック」に掲載されています。希望者に配布していますので、カウンターに申し出てください。



7 執筆作業にとりかかろう！ 聖くんは、集めた文献にじっくりと目を通し、実際に、論文の執筆にかかろうと思いましたが、どのように書いたらよいのかわかりません。論文の書き方についての本を本学図書館の「蔵書検索」で調べることにしました。検索画面のワードに「論文 書き方」と入力し検索すると、図書館では、論文の手引書として次のような資料を所蔵していることがわかりました。

例) 図書

- ・『レポート・論文の書き方入門 第3版』
河野哲也著 慶應義塾大学出版会
2002.12 816 5 Ko76
- ・『レポート・論文の書き方上級 改訂版』
櫻井雅夫 慶應義塾大学出版会
2003.10 816 5 Sa47
- ・『評価される博士・修士・卒業論文の書き方・
考え方』 新堀聰著 同文館出版
2002 6 816 5 N72

これで、論文を書くための準備はそろいました。あとは、提出日に間に合うように、収集した文献をもとに自分の議論を展開していきましょう。

提出までのチェックポイント

1. 資料を読んだり、執筆するには意外と時間がかかります。そのための時間はたっぷり取りましょう。
2. 書き終わった後は必ず、誤字脱字、入力ミスがないかを確認しましょう。
3. バックアップは二重に取りましたか？フロッピーディスクは壊れることがあります。
4. プリンタやコンピュータは込み合ったり、壊れる可能性があります。提出間際になって、プリントするのは間違いのもと。時間に余裕をもって行いましょう。



図書館からのお知らせ

●図書館オリエンテーション

今回特集したレポートや論文のための資料収集方法を実際に体験したり、図書館の有効な利用方法が詳しくきけるオリエンテーションを行います。

個人、グループ、または授業単位でも受け付けています。お気軽にお申し込みください。

●聖学院大学後援会からの寄付

今年度も聖学院大学後援会から学生用資料充実のために300万円の寄付を頂きました。ありがとうございました。

図書委員の先生方と新宿の書店へ行き、学術書に限らず、新刊本を中心に、すぐ手にとって読みたくなるような本を選びました。

カウンター横の書架に展示しています。読書の秋に向かって、多くのご利用をお待ちしています。

●図書館ホームページから情報発信

もし今、PCが近くにあるなら、図書館ホームページを開いてみてください。図書館の紹介だけでなく、大学からの一次情報も用意されています。

例えば、聖学院大学論叢に掲載された先生方の論文、図書館報「ぱびるす」のバックナンバー、本学で所蔵する貴重なマイクロフィルムに関する詳細な紹介文などです。

これからも図書館はホームページを通して情報発信をしていきます。時々チェックしてください。

●聖書展

11月に新しく完成するチャペルで開催されるキリスト教文化学会を記念して、聖書展を予定しています。女子聖学院中学校高等学校図書館の協力を得て、明治時代の貴重な聖書も展示されます。ご期待ください。

●コンピュータ等の利用時間について

コンピュータ、視聴覚機器類、コピー機、特別閲覧室の利用は閉館15分前までです。

終了時間を守って利用しましょう。